

科学技術館、東京理科大学 近代科学資料館、Gakken との連携展示

科学雑誌と家電でたどる日本の150年

千代田図書館では、科学技術館、東京理科大学 近代科学資料館、Gakken と連携し、企画展示「科学雑誌と家電でたどる日本の150年」および、関連講演会「元編集長が語る、学研『科学のふろく』開発裏話」を開催いたします。

展示は、前期[江戸末期～1950年代]と後期[1960年代～現代]に分け、時代毎に作られた科学雑誌や家電などを解説するパネルを中心に、関連本や資料（当時の雑誌や家電）などをご覧いただきます。

展示をご覧になって、「科学や技術はライフスタイルをどのように変化させてきたのか?」「今後どのような未来をつくるのか?」などを考えていただくきっかけとなればと思います。

※中学生以上を対象とした内容ですが、夏休み用に子ども向けの本や資料も設置いたします。

展示「科学雑誌と家電でたどる日本の150年」

より豊かなくらしを求めて、人はいつも新しいモノをつくってきました。その積み重ねのひとつが家電となって、私たちに快適で便利な生活をもたらしています。

それらに含まれる科学の原理や技術のしくみは、学校教育や科学館・博物館を通して、また、本・雑誌・テレビ番組などを通して、私たちに伝えられ、未来の科学者を育ててきました。

今では、豊富で便利な製品によって、暮らしの中で不自由や不便を感じることは極めて少なくなってきました。その反面、科学や技術は一層ブラックボックスとなって見えにくくなり、しくみや原理を知る必要性と機会は減っています。私たちは、最先端の製品やサービスを便利に使えれば、それでいいのでしょうか。

本展では、科学の知識を広く伝えてきた総合的な科学雑誌をパネルで紹介しながら、身近な家電を題材に科学と技術の進歩をたどります。また、科学・家電・ライフスタイルなどに関する本を約250冊貸出用としてご用意するほか、懐かしの科学雑誌やふろくも展示します。

会期	2015年5月25日(月)～8月22日(土) 前期[江戸末期～1950年代] 5月25日～7月14日 後期[1960年代～現代] 7月15日～8月22日
場所	千代田図書館9階＝展示ウォール
主催	千代田区立千代田図書館／科学技術館／東京理科大学 近代科学資料館／Gakken



(解説パネル一部)

■関連イベント 講演会「元編集長が語る、学研『科学のふろく』開発裏話」

【講師】湯本博文(ゆもとひろふみ)さん／学研科学創造研究所 所長

早稲田大学卒業後、(株)学習研究社入社。学年別科学雑誌『〇年の科学』シリーズの編集長を歴任後、『大人の科学』シリーズの開発を担当。現在、学研科学創造研究所所長及び板橋区立教育科学館名誉館長。

～湯本博文さんより～

学研の学年別学習雑誌「科学と学習」は、1979年に670万部という驚異的な発行部数を誇った雑誌です。当時の小学生の三人のうち二人が読者だと言われていました。風見鶏の付録がついたときは、家の門柱やベランダなどに取り付けられたので町中をにぎわしたと言われていました。私も小学生のとき『6年の科学』を購読していて、毎月の付録が楽しみでした。未だに当時の1年分の付録が、頭の中に鮮明な映像で蘇ります。この付録を作りたくて学研に入社し、13年後、やっと編集長として付録の開発に携わることになりました。夢にまで見た付録の開発ですが、やってみると大変なことの連続です。寝ても覚めても付録のことで頭が一杯です。画期的なアイデアが浮んでも「原価の壁」や「安全性」の壁に阻まれて商品化をあきらめたことが山ほどあります。そんな奮闘ぶりを、製品化された実物やその試作、また失敗作まで含めてご覧いただきながら熱く語りしたいと思います。

日時	2015年7月28日(火)19:00~20:30(開場18:30)
場所	千代田図書館9階=特設イベントスペース
定員	50名/事前申込制、先着順、立見可 ※中学生以上を対象とした内容ですが、保護者同伴ならば小学生もご参加になれます。
参加費	無料
申込方法	2015年6月22日(月)10:00~受付開始 ①電話=千代田図書館 03-5211-4289・4290 ②来館=千代田図書館10階カウンター ※①と②の受付日時は、月~金曜日(祝日を除く)10:00~18:00 ③Web=千代田区立図書館ホームページより ※Web予約は貸出券をお持ちの方のみ

本件お問合せ先：千代田図書館 広報担当：坂巻 TEL 03-5211-4288

お客様お問合せ先：TEL 03-5211-4289・90/千代田区九段南1-2-1千代田区役所9・10階
千代田区立図書館ホームページ <http://www.library.chiyoda.tokyo.jp/>